

2017年度京大生生態学研究センター公募ワークショップのご案内 20170828

From biodiversity to sustainability: Key challenges of theoretical ecology

理論生態学の展望：生物多様性から生態系の持続的な管理まで

- ・日時：10月31日(火) 9:30-17:30
- ・場所：京都大学理学研究科セミナーハウス（京都大学北部構内）
〒606-8224 京都府京都市左京区北白川追分町
- ・言語：英語
- ・企画：谷内茂雄・石井励一郎・佐竹暁子・山村則男
- ・問い合わせ先：谷内茂雄（京大生生態学研究センター） yachi@ecology.kyoto-u.ac.jp

事前登録は不要です。なお、懇親会については、後日、メーリングリスト等であらためて詳細をご案内いたします。参加ご希望の方は、その折に谷内（yachi@ecology.kyoto-u.ac.jp）までメールでご連絡ください。

開催主旨

本ワークショップでは、生物多様性・群集・生態系の基礎研究から生態系の持続的な管理にわたる理論生態学の主要なテーマを対象に、国内外の研究者による話題提供と議論を通じて、今後推進・挑戦すべき理論的研究課題について意見交換をおこないます。ワークショップでは、フランス「生物多様性理論・モデリング研究センター（CBTM）」からMichel Loreau教授とClaire de Mazancourt博士を招へいいたしました（「JSPS外国人研究者招へい事業」および「京都大学教育研究振興財団助成金」）。Loreau教授は、理論生態学における世界的リーダーの一人であるとともに、DIVERSITAS（現在は、Future Earthに統合）の第二期議長を務めるなど、生物多様性・生態系保全の国際枠組みの構築・推進に関しても大きな貢献をされてきました。また、de Mazancourt博士は、Loreau教授とともにCBTMにおいて精力的に理論的研究を推進されています。

ワークショップでは、まずLoreau教授に生物多様性・群集・生態系の関係からはじめて、生態系の持続的な管理など社会的なテーマにまたがる、ご自身の研究とこの研究領域の進展についてお話しいただきます（基調講演）。次いで、A)生物多様性・群集・生態系、B)社会-生態システムのダイナミクスと持続可能な管理、の各セッションでは、いくつかの重要なトピックスについて演者の皆さんに話題提供していただきます。基本的な話題提供を共有したあと、セッションC)では、3名のコメンテータの方からコメントをいただいたあと、今後重要となる研究課題や研究方法について、ワークショップ形式で話題提供者・コメンテータ・参加者を交えた自由な意見の交換をおこないます。最後に議論の内容を集約・発表して、参加者の皆さんとワークショップの成果を共有したいと思います。

*講演要旨や当日の詳細については、今後、メーリングリストと生態研ホームページでご紹介していきます。

ワークショップ・プログラム (tentative titles) (以下、敬称略)

9 : 00—9 : 30 参加受付

9 : 30—9 : 40 Opening remarks (谷内茂雄)

9 : 40—10 : 30 Keynote Lecture

Michel Loreau (Center for Biodiversity Theory and Modeling)

Linking biodiversity, ecosystems, and people across scales: challenges for ecology and sustainability

10 : 30—10 : 40 休憩

10 : 40—11 : 50 Session A: Biodiversity, communities and ecosystems

1) 難波利幸 (大阪府立大)

Indirect interactions in ecological networks and structure and stability of ecosystems

2) 近藤倫生 (龍谷大)

On community complexity and stability

11 : 50—13 : 00 昼食

13 : 00—14 : 10 Session A: Biodiversity, communities and ecosystems

3) **Claire de Mazancourt (Center for Biodiversity Theory and Modeling)**

On biodiversity and ecosystem stability

4) 三木健 (台湾大海洋研)

On bio- and chemo-informatics for evaluating the relationship between biodiversity and ecosystem functions

14 : 10—14 : 30 休憩

14 : 30—16 : 00 Session B: Social-ecological dynamics and sustainable management

1) 佐竹暁子 (九州大)

On coupled dynamics of social-ecological systems

2) 石井励一郎 (地球研)

On the relationship between network pattern of human biological resource use and resource sustainability

3) 谷内茂雄 (京大生態研)

On sustainable watershed management and Dr. Masahiko Higashi's manuscript on global environmental issues

16 : 00—16 : 10 休憩

16 : 10—17 : 30 Session C: Challenging issues on theoretical ecology

1) Comments by three commentators

山内淳（京大生態研）・時田恵一郎（名古屋大）・宮下直（東大）

2) Workshop on challenging issues on theoretical ecology: two groups

3) Presentation of two groups and exchange opinions

17 : 30 Closing address (山村則男)

18 : 15ー 懇親会（京大生協北部食堂 2 階）